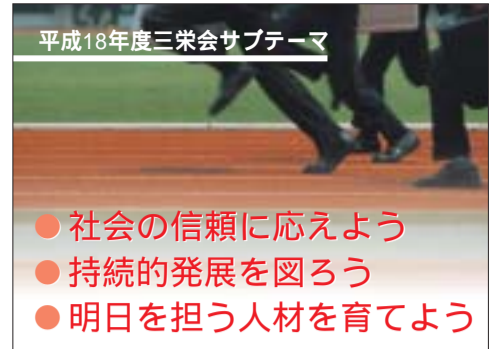


編集兼発行人：三栄会広報委員会 事務局：東京都千代田区大手町1-2-1 三井物産株式会社経営企画部連結経営推進室内
TEL(03)3285-7816 三栄会ホームページ URL: http://www.san-eikai.or.jp
Eメールアドレス: SaneikaITKAAG@mitsui.com 制作：株式会社三幸企画



東京三栄会第二六回通常総会を開催

「創造的企業グループ」を目指して、一体感のある連結体制へ



平成一七年二月九日、午前十一時から三井物産本店二階一号会議室において、東京三栄会第二六回通常総会が開催されました。増田会長以下、加盟会社の各社代表、地方三栄会会長、阿部・山崎両名誉会長、ならびに特別会員である三井物産側から榎田社長、永田専務にご出席いただきました。総会には出席者にて定足数を満たし有効に成立、議案は滞りなくすべて承認されました。

最初に増田会長から三井物産榎田社長や永田専務および三栄会メンバー各社代表の参加に謝意を、また、活動の中心となった部会・委員会の世話人の協力と三井物産の主管部の理解と支援に対するお礼が述べられました。挨拶要旨は次のとおりです。

「先般、公表された三井物産の史上最高の業績予想の中で、会員各社を含めた関係会社が多額の利益貢献を果たしたことは真に喜ばしく、今後とも継続してさらなる貢献が期待されている。他方、今後は経営面だけの貢献では市場・社会から

の評価に答えられなくなっている。内部統制、コンプライアンス、社会貢献など、これら企業として対応するのは当然だが、いまや企業グループ全体での対応が求められており、その中で総合的な貢献が評価される時代である。いわば連結経営の深化した時代であると認識している。本会設立趣意を活かしつつ、企業グループとして一体感のある経営、社会的要請をどのように両立させるか、また三栄会としてどのようにお役に立てるか、三栄会の課題の二つである。

今後の具体的な運営に当たっては、皆さんのご意見を伺う必要がある。三井物産と三井物産の格別の「理解」と「協力」をお願いしたい。

以上、新しい三栄会がより実り多い活動が実現できるよう従来以上の支援をお願いするとともに、来る二〇〇六年のますますの発展を祈念して挨拶を結びました。

来賓挨拶では、三井物産榎田社長より、三井物産の今期中間決算および通期見通しについて、またDPF問題に関する現状について説明され、今後、意識改革、内部統制に全力で取り組むほか、三栄会の活性化に従来にも増して協力していくと別記のとおり述べられました。

こうした背景の下、新しい会のあり方についてご提案したく、ご審議いただきたい。一つは、業種・業態を超えた横断的組織であり、会員各社の社員が主体となっていた委員会活動の一層の拡充である。もう一つは、三栄会各社幹部と三井物産幹部との直接対話を図る場の充実。何れの場合も、親会社・三井物産との一体感ある運営を図っていくことがポイントで、この点を明確にして運営していきたい。

「三栄会としての直接対話を図る場の充実。何れの場合も、親会社・三井物産との一体感ある運営を図っていくことがポイントで、この点を明確にして運営していきたい。」



各議案については、本年度の活動報告、決算収支報告、期中交代幹事の報告など、さらに今回は三栄会の組織再編成と会則等の改正案が提案され承認されました。組織再編成については、現行の商品本部別一部会をセグメント別の五部会に、また委員会については、現行の五委員会を四委員会へ統合、その中で新規に文化交流委員会を立ち上げます。



第二六回三栄会総会 榎田松瑩社長のご挨拶

一体感のある連結体制の構築を

はじめに

昨年は三栄会を設立してから四半世紀という節目の年でしたが、今年さらなる発展を目指して新しい体制に向かうと伺っております。三井物産本会としてもその流れに大いに協力して、物産グループ全体の繁栄を目指していきたく思っております。

中間決算の連結過去最高利益は、関係会社の好調な業績による。当社の現況については、一〇月に〇六年三半期中間決算を発表しましたが、連結純利益は半期で過去最高の八三億を達成することができ、通期予想も期首計画に比べてさらさら一〇〇億円を上乗せした一八〇億円と公表することができました。

このような好決算・好業績の背景には、資源関係の好況あるいは昨年世界的な好況の中で唯一取り残されていた日本の景気もやうと回復に向かっていたという流れもありましたが、なかならず関係会社の業績に大きく支えられたことは否めません。関係会社群の中核を担う三栄会皆様の日々の経営努力によるものと深く感謝いたします。

またご協力・ご理解をいただき、大変ありがたく思っております。

現在、四八〇名体制で対応を進めておりますが、九割強のお客様への対応を終え、残り一割弱のお客様に鋭意対応しております。この問題で失われた三井物産への信頼回復には、最後の一台まで全力を尽くして対応することが必要であり、会社の最重要課題として引き続き取り組んで参ります。

グループ全体で、内部統制・コンプライアンスの強化を大変に心配をおかけしておりますDPF問題ですが、ご迷惑をおかけしたお客様をはじめとする関係者の皆様、誠実かつ全力で対応することが三井物産の責任であり、信頼回復の唯一の手段だと思っております。こういった考えから三栄会の皆様には、例えば八月の定例納涼フェスティバルを自粛いただくなど、さまざま

「三栄会との関係をさらに強化」

三栄会の皆様を中心とし、会員皆様のアンケートベースで、三栄会の活性化について検討されており、三栄会会員と三井物産の幹部同士が定期的に直接対話できる場として経営懇談会を新たに設けること、また、三栄会として社会貢献活動を強化し三井物産との連携を図りたいと考えています。先程申し上げましたとおり、三井物産としてもぜひとも三栄会を通じた一体感のある連結体制の構築を実現したいと強く思っておりますので、本日の総会で議論いただきたいと思います。

最後に、三栄会会員各社のさらなる「発展と社員の皆様がますますのご活躍をお祈りいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

(文末ごめ・三井物産ハウステクノ 安藤)

このように、当社は連結経営体制が大変進んでいる一方で、同業他社との数字の比較がいろいろありますが、ポトムラインの単純比較は意味がありません。三井物産の長年の事業活動の成果が現在の資産内容、ポートフォリオであり、皆が頑張ってきた結果として胸を張って良いものと思っております。また、グループとしての健全な連結経営には、三井物産と関係会社の社員全員が一体感をもった集団として一つの方向に向かっていく姿勢が欠かせません。

ビジネスを進める上での緊密な連携はもちろんです。社会に対する責任もグループ全体で一つと意識できるような連結体制を進めていきたいと思っております。三栄会会員の皆様は、ますますのご協力をお願いする次第です。

東京三栄会定例部会報告

コンシューマーサービス部会

九月二十七日、会員企業一九社から三二名、三井物産から鈴木副社長、コンシューマーサービス事業本部長の伊藤常務執行役員をはじめ、多数の首長にご出席いただき開催されました。

今回の会議の議題は、東京三栄会第六期重点活動テーマの『創造的企業グループ』を目指して『』に対応した各社の取り組みと最新情報の一部をご紹介します。

・キッズステーション：視聴者の生活時間や習慣に応じた番組編成で良質な番組を提供。特に、二時以降は大人向けのアニメ番組を厳選して放映し、好評。

同社はCSDデジタル放送
 ・三井物産フォレスト：北海道から九州まで全国に七三万所、約四四〇〇〇ヘクタールの社有林があり、その面積は北海道の山林の八割。本州では二割にあたることを報告

同社は三井物産社有林の山林管理業務を受託
 ・物産不動産：三井物産とイトヨーカドーの合弁会社モルエスエスI関連の案件や、羽田空港関連のPFI案件など事業展開について
 ・三井物産ヒューマンリソース：即戦力、エキスパートの派遣、中途採用の人材紹介情報
 ・三井住商建材：明日を担う人材育成への取り組み
 ・エニ：携帯電話の販売支援、各種イベント・セールスプロモーションなどの紹介
 ・エムサービス：日々の安全衛生管理の基本
 活発な情報交換がなされました。

(エムサービス 林)

機械部会

一〇月二三日、正会員二社、準会員一社による定例会一七名、懇親

会三七名の参加を得て、機械部会が開催されました。

定例会では、まず、世話人である三井物産オートモーティブ(柳辻田社長)の挨拶および異動状況などの報告の後、東京三栄会増田会長の挨拶があり、機械部会への期待および現在三栄会のある方の再検討を行なっているなど、三栄会全体の動きについての説明がありました。

その後、情報戦略企画部の齊藤良樹氏より「連結経営強化のための関係会社プロセスおよびシステム標準化」、機械・情報統括部内部統制オフィサーの井下映一氏より「内部統制の整備・強化 リスクアプローチによる実践」のテーマで講演が行なわれました。両テーマとも関係会社での内部統制構築に関する興味深い内容であり、前者は一〇月初旬に公表されたばかりの「関係会社プロセス・システムの基本要件」に関する説明で、日程上三井物産社内説明会に先んじて実施されることとなりました。

後者は、特に内部統制の構築ステップ・成功要因などの実行面にフォーカスを当てた説明で、機械・情報統括部独自の取り組みについても一部披露されました。

(物産機械情報サービス 田近)

食料・リテール部会

一二月二八日に開催し、正会員一九社、準会員五社、計二四社が出席しました。

最初に増田会長より、「三栄会は『三井物産を盛り上げよう』という目的により始まり、現在も連結決算上による三井物産への業績貢献をしているが、今後は三栄会の会員企業が三井物産との連結経営を、より積極的に考えていくようになるだろう」と、会員会社への引き続きの協力要請がありました。

(三井物産鉄鋼建材 藤井)

次に佐藤食料・リテール本部長より、「MICAAN導入をはじめ、さまざまな協力をいただいていることへのお礼と、ゆくゆくは各社と一緒に共通インフラの整備を目指したい」との挨拶がありました。

世話人による「退職制度等に関するアンケート結果」の報告後、今回のメインテーマ「製糖業界の動向と新生三井製糖の戦略」と題して三井製糖(柳井原社長)が講演し、三井グループは複数の会社で生産工場を持つスタイルを選択したのに対し、三井グループは需要の変化に即応しつつ、合併による精糖工場の集約を選択して繰り返してきたこと、原油高・製糖安をはじめ大変厳しい業界動向の中、同社は保有するさまざまな経営資源をそれぞれに伸ばし、シナジー効果を追求していく旨のお話がありました。

(三井製糖 松本)

鉄鋼部会

定例会が、三井物産本社にて一二月二九日に開催されました。

柳三井物産コイルセンター畑谷社長の司会により議事が進行し、会員二二社と、三井物産より多田専務、渡邊鉄鋼製品本部長、三栄会事務局ほか一三名、東京三栄会からは増田会長以下幹部四名の合計二九名が参加。最初に三栄会幹部の挨拶があり、その後、新社長の紹介ならびに挨拶がありました。

前半の部は、多田専務の三井物産の決算概要とDPF問題等に関する講話、渡邊本部長による鉄鋼製品本部の現況ならびに決算概要に関する講話があり、業績面での三栄会各社の貢献に対する謝意表明、今後さらなる連携強化・貢献の要請がありました。

後半の部は三井物産の飯島金属・エネルギー総括部長が金属セグメント概況、阿部金属・エネルギー総括部内部統制室長が内部統制に関する講話を行いました。

物流部会

一二月七日、部会員二〇社二五名、三栄会幹部・三井物産一〇名の計二十五名が参加して開催されました。

同部会世話人の東神倉庫(柳崎山社長)による開会挨拶の後、海老名・三栄会副会長より「現在、三栄会組織の再編や各種規定、会員資格の見直しなどを行っている。今後も会員企業間の親睦をさらに深め、三井物産グループの発展に寄与したい。会員会社は経営方針が三井物産とマッチしなければならぬので、三栄会の運営方針に、一体感を醸成する場とすることや、内部統制についての情報交換を行なう場とすることも追加検討中。九日の総会で付議する予定となっている」と挨拶がありました。

続いて、昨年一月から一月までの物流部会の活動報告が行われ、どの分科会においても個人情報保護、情報セキュリティ、CSRへの取り組みが議題となったことは、まさに昨年を象徴する活動報告でした。

会員各社からの年間の業務報告では、各社とも業績改善・向上への真摯な取り組みもみられることながら、ISOなどの国際規格の取得、IT推進力の強化に取り組んでいること、

本年度の海外研修は一〇月一六日から二二日までの日程で、バンコクとホーチミンを訪ねました。正味四日間での三の企業を訪問、さらに各企業のオフィス以外に付属工場、工事現場の見学もあったので、ちょっとタイトなスケジュールとなっていました。しかし、参加者全員が非常に行動良く、これといったトラブルは皆無で、全員元気で帰国しました。



第九回東京三栄会海外研修でタイ国・ベトナムを訪問

東京三栄会副会長兼団長 海老名潤 (三井物産ゼネラルサービス)

のバンコク新国際空港「スワンナプーム空港」を、ホーチミンでは水産加工工場、縫製工場、フレコン袋工場、パソコンサフト開発企業を見学しました。訪問企業はほとんどが三井物産の出資先あるいは得意先であるためか、いずれの訪問先でも海外研修団は非常に温かい歓迎を受けました。

特筆すべきはバンコクで三井物産の海外における唯一の三栄会組織であるタイ国三栄会の首長が、一〇月の月例会開催日をわざわざ我々の海外研修団のスケジュールに合わせ調整し、一九日に我々のために歓迎会を開いてくれたことです。この会では最初は団員一同、非常に緊張していましたが、会長や司会の方々のユーモアに富む話で皆が打ち解け、和気あいあいとした中で交歓ができ、団員も非常に光栄に感じたと異口同音に語っていました。

今回、工場見学で訪れた両国のほとんどの企業の製造工程が素人にも理解しやすかったことから、全員、興味深く見学していたのが非常に印象的でした。また、その後の質疑も極めて活発で、スケジュールの都合上、途中で打ち切らざるを得ないこ

取り分け、人材育成のための社員教育の充実には特に熱心に取り組まれていることが明らかになりました。また採用に関しては、三井物産グループのブランド力を活かし、三栄会物流部会加盟会社での合同会社説明会の開催の提案が出されました。

横山三井物産物流・金融総括部長からは、DPF問題についての経過報告と今後の取り組みに関して説明と、引き続きコンプライアンスを重視し、内部通報制度をきっちり運用できる体制を維持してほしいということ、会員各社は連結内部統制がしっかりとできていることを示すべく対

ともたびたびあったほどです。ですから、案内に当られた訪問先の方々にも好印象を残せたものと喜んでいきます。

団員が一番印象に残ったと口をそろえて語っていたのは、バンコクではスワンナプーム空港、ホーチミンではエビの加工工場でした。スワンナプーム空港は以前、キングコブラが出ることで有名だったという湿地を開発してできた空港で、現在、大規模な滑走路やターミナルが感容を誇っています。そしてその規模が成田国際空港の約二倍と聞き、その広大さに一同改めて驚きました。一方、ホーチミンでは、皆の関心は何といつてもエビの加工工場で、海軍戦術によりエビの選別から洗浄、殻むき、容器への盛り付けなどの作業が清潔な環境でこなされている光景に、皆見入っていました。

この工場で加工されたエビは寿司ネタとしてほとんどが日本に輸出されると聞き、食料の国際化を改めて認識しました。またこの加工工場に行く途中、エビの養殖地と見られる池が数多くあり、いずれもマンゴロップを伐採して埋め立てられて作られたものよつでした。マンゴロー

応されるよう、改めて協力要請がなされました。

最後に三栄会の横手共通世話人より、「執行部としてはセクターを超えて連携を図ろうと思っている。物流部会はその部会に比べ分科会が作られ活発に活動して研さんを積んでおり、研修が行われているので安心してはいるが、部会再編後も同様の活動ができるよう、組織の中で検討されたい」という、今後三栄会活動への協力・支援の依頼がありました。

(商船三井ロジスティクス 山口)

日本人は世界一のエビ好き国民で知られていますが、エビの寿司やエビフライなどを食べ過ぎて需要過多に陥ると輸入元の環境破壊につながるのではと、はっと考えさせられる一幕もありました。

最後に、今回の海外研修団受け入れ準備に約三カ月間お世話になり、さらに訪問中、すべての行程を一緒に回っていただいた泰国三井物産とホーチミン事務所の関係者の皆様、また泰国三栄会の皆様には改めて心からお礼を申し上げます。本当にお世話になりました。

話になりました。

人事委員会主催・講演会報告

「心の時代の人事課題」講演会を開催

九月二〇日火、「心の時代の人事課題」と題する講演会が、三井物産一階会議室にて開催されました。講師は世界最大の人事・組織コンサルティング会社であるマサー・ヒューマン・リソース・コンサルティング(株)リンシバルで、メンタルヘルスに詳しい



熱心に聞き入る参加者たち

い人事コンサルタントを務める舞田竜彦氏。同氏はポスト成果主義の人材マネジメントに関する著書『10年後の人事』を執筆されています。

講演会では、「ポスト成果主義の経営課題」「勝組企業への「こころ」を測る」「メンタルヘルス問題について進められた」

また、「ポスト成果主義の経営課題」では、成果主義のプラス面として人件費コントロールが最大の功績に挙げられました。一方マイナス面では、高い成果を上げた者ほどパフォーマンスが燃え尽き症候群になりやすく、また、メンタルヘルス問題で働けない社員が一人出ると生産性が低下し、代替労働力の確保のために既存社員の超過労働(深夜残業・休日出勤)をもちろすことが挙げられました。



講師を務めた舞田氏

また、「勝組企業への「こころ」を測る」では、ある会社の勤続志望者と離職志望者にアンケートを実施し、ギャップ分析をしたところ、報酬制度については両者の満足度に差がなく、差が出るのは精神的ストレスと肉体的疲労のギャップが大きい、といった例が多く紹介されました。

最後の「勝組企業への「こころ」の人材マネジメント」では、金やすべてでなく、アメリカを例に、働きがいとは金銭的報酬と非金銭的報酬(感謝、オンとオフのバランス、組織

文化、成長機会、労働環境)双方に対して感ずるものとして、優れた業績を上げた研究技術者への非金銭的報酬の例が紹介されました。具体的には、以下の四点が上げられました。

- 「予算報酬」 自由に使える開発予算を与える。
- 「環境報酬」 研究開発のための環境・設備を整える。
- 「テーマ報酬」 今後取り組むテーマの選択権を与える。
- 「時間報酬」 自由な活動に使える時間や、充電休暇を与える。

成果主義がもたらすストレスから発生する組織上の問題をいかに解決するか、次の重要な人事課題。心の時代の人事課題となること、今回の講演を通じてよく分かった気がしました。(商船三井ロジスティクス 福井)

「四〇代、五〇代で考える『定年後』セカンドライフの生活設計」セミナーを開催

東京三栄会人事委員会主催、(株)三井物産インシュアランスアンドコンサルティング、NPO法人企業・団体支援日本FP協議会協賛で、「四〇代、五〇代で考える『定年後』セカンドライフの生活設計」セミナーを、一月一六日に三井物産本社特別会議室で開催しました。



日本でも相次ぐ企業年金の破綻や確定拠出型年金の導入、厚生年金支給額縮小など、定年後の生活設計は以前より明らかに厳しくなっており、そのため国から給付される基礎年金の不足分を自助努力によってまかなう資産形成が非常に重要になってきています。また、関係会社の経営に携わる方々にとっては人事制度設計にあたり、これらは大いに留意すべき事項であると思われます。このため、当日は五〇名を超える参加があり、参加者の皆さんは非常に熱心に聴講されていました。

今回のセミナーは第一部、第二部を通じて、単に説明するだけではなく、具体的に参加者が自身のケースに照らし合わせて収支を算定してみる、という参加型になっていたのが特徴です。

具体的には、第一部では「セカンドライフで夫婦が何年生きるかを想定したうえで、参加者自身が最後の生活費や負債、子供への援助、住宅関連の支出、公的年金・退職金・企業年金などの収入に分けて、最低限の生活を送る場合とゆとりある生活を送る場合の二通りに分けて実際に計算しその過不足を算定する」という形で進められました。

第二部では、第一部を受けてセカンドライフでの生活資金の不足額、すなわち自助努力で資産形成をしなければならぬ金額を想定し、貯蓄や投資などによる資産形成をどのように行えばよいかといった基本的考え方、特に投資に対するリスクとリターンへの考え方や、またアセットクラス、アセットアロケーションの考え方に基つき、具体的に分散投資の設計の仕方について解説されました。

なお、講演を通じて充実したセカンドライフを送るためには、単にお金だけで足りてはいけいといふことではなく、「生きがい」「健康」「経済力」の三要素のバランスが重要であることが強調されていた点に心に残りました。(物産機械情報サービス 田近)

「生活習慣病の怖さ」をテーマにした健康セミナーを開催

昨年一〇月七日、三井物産本社二階会議室において、「1+1=2ではない、生活習慣病の怖さ」をテーマにした健康セミナーが開催されました。ヘルスコーディネーターの本多功夫先生を講師に招き、内容はシリアスながら、本多先生によるユーモアに溢れた講演に会場内は笑いに包まれ、「笑いながら学ぶ」という有意義な講演会となりました。

現在の日本人の寿命と健康についてわが国の平均寿命現在の環境で生きられるであろう年齢は、男性が七八・六四歳、女性が八五・五九歳と世界の中でもずば抜けて高い。しかしその一方で、平均健康寿命(倒れる可能性のある歳)は男性が七二・三歳、女性が七七・九歳と、世界でも寿命と

健康寿命の差が世界で一番大きいのも事実である。これが問題であり、食事の重要性はもちろん、新たな健康の定義は「日常生活を充実させながら自己を満足させることができる最適な条件下で生活を送る、ポジティブに生きる人を愛することができる人」といえる。現在、企業はほとんどは健康診断結果にしか関心がない。しかしこれからは少子高齢化社会を見据え、企業として現在働いている労働者の健康管理を真剣に考える必要がある。

死者数と死因について
平成一六年の死者数は一、〇二八七〇八一人(日あたり二、八一八一人)。死因の一位は癌で三三〇、三三五人。二位は心臓疾患で二五九、四九〇人。三位は脳卒中で二二九、〇〇九人。三



ヘルスコーディネーターの本多先生(中央)

位までの合計で全体の半数以上となっている。

癌については、受動喫煙者一〇〇〇人を含むタバコによる死者数は約一〇五、〇〇〇人で、癌死亡者の約三分の一を占める。また和食から欧米型の食事への変化が原因で、最近では腸癌が危ない。心臓疾患と脳卒中については、癌のみに意識が向けられがちだがこの二つも非常に危険であり、特に脳

卒中は死亡者数の倍の割合で体が不自由になっている。

メタボリックシンドローム代謝症候群)

メタボリックシンドロームとは、ベータリッパは肥満、高血圧、高血糖、高脂血症・糖尿病が重なった状態のこと。日本の男性の約三割は肥満といわれ、お腹をつまんで週刊誌の厚さがあれば肥満が始まっている。理想体重を求めるのにボディマスインデックス(BMI)がある。理想体重=身長×身長×BMI数値、BMI数値は体重÷身長×身長で求め、一五以上は危険、一八〜二四の間が理想。

メタボリックシンドロームになる確率は、BMI数値が一五以上で、中性脂肪一五〇ミリグラム以上、HDLコレステロール四〇ミリグラム未満、血圧最大一三〇mmHg以上、最小八五mmHg以上、空腹時血糖値一〇〇ミリグラム以上、あてはまる数が一つであればメタボリックシンドロームになる確率は五倍、二つで九・七倍、三つで三二・二倍と、あてはまる数が多いほどメタボリックシンドロームの確率が上がり、決して1+1=2ではないことが分かる。

最後に、笑い健康の源。七五%は気持ちで老化するといわれています。老化現象防止策として「どうせ、いまさら、よいしょ」等の言葉の老化に気をつけましょう。会場は爆笑の渦の中、セミナーは終了しました。(HI)

お知らせ
(サンエイニュース64号以降)

東京三栄会入会
・三井物産フォレスト(株) 消費者サービス事業部会
・物産キャリアパートナーズ(株) コーポレート・金融部会
・物産ロジスティクスソリューションズ(株) 食料・リテール部会

東京三栄会退会
・(株)物産マイクロエレクトロニクス 情報産業部会
・(株)エム・ビー・ケイマイクロテック 情報産業部会
・三井物産決済サービス(株) コーポレート・金融部会
・物産プラントメンテナンス(株) 機械部会
・秋田鉄鋼(株) 鉄鋼部会

東京三栄会加入会社数
159社(2006年1月1日現在)

社名変更
・三井物産トレードサービス(株)
(旧社名 三井物産トレードロジスティクス(株))
・三井物産エレクトロニクス(株)
(旧社名 ザイオニクス(株))
・物産ファシリティーサービス(株)
(旧社名 アイエスエス・ネスコ(株))

Business Corner

ビジネス・コーナー



老舗和菓子店職人が作る 心と体に優しい和菓子 健康美彩「和みシリーズ」 「四季の和菓子」新登場

御メフォスは二〇〇二年よりホテルオークラとの共同開発により、健康へのきめ細かい配慮と美味しさにこだわった新しいエネルギーコントロール食宅配サービスを開始し今年で四年目を迎えました。昨年一月からは、心と体に優しい和菓子として、「健康美彩」和みシリーズ「四季の和菓子」を販売しています。

「一口で焼き」「蓬道明寺」などが入っており、どれも一口サイズで、食べやすさと美味しさを両立。素材の持ち味を大切に、風味豊かで上品な味わいとなっており、一個あたり八〇キロカロリー前後であるため、毎日少しずつお楽しみいただけます。詰め合わせ「箱三」一五〇円(税込)み/送料・クール料金別。健康美彩商品の合計注文金額四、七二五円(税込)以上で送料無料で、一部離島を除いて、全国配送可能。詳しくはホームページをご覧ください。

【お問い合わせ】
御メフォス 健康美彩お客様相談窓口
電話：〇三 三三三九 一七〇四
http://www.kenkobisai.com

シングルモルトウイスキー 「グレンミル12年」

三井食品㈱から販売されている「グレンミル12年」は、スコットランドの最高峰「ベン・ネヴィス山」の麓にある蒸留所で造られ、清らかな雪解け水を源にする「オルト・ナ・グリーン川」の水をマザー・ウオーターとして蒸留し、ホッグスヘッド樽で二年以上熟成貯蔵されたモルト原酒を厳選、ヴァッティングしたシングルモルトウイスキーです。その美しい琥珀色の味わいは、甘い豊かさの中に麦芽のニユアンスを伴いながらも、ややドライでオレンジの香りを持った濃厚な果実味が印象的です。スムーズな飲み口とマイルドな余韻が心地良い時間を約束してくれます。

アルกอฮอล์度は四〇度、希望小売価格は七〇〇ミリリットルで六〇〇〇円です。全国有名百貨店やスーパーなどで取り扱っていますのでぜひお試しください。



【お問い合わせ】
三井食品株式会社
営業本部営業推進部酒類企画室
電話：〇三 三三三九 一四二二
担当：橋 大八木

江守哲氏の著書 「勝つ投資 賢い投資家は コモディティを知っている」 を発売

昨年の原油急騰は世界に震撼をもたらしましたが、上昇しているのは原油だけではなく、銅やプラチナ、砂糖など多くの素材商品の価

格が上昇しているのです。この背景として中国需要の急増や投機資金の流入などさまざまな要因が挙げられていますが、マネーの流れに変化が起こっていることは明らか。そして、株式や債券、為替などにおいても、商品相場の動向を把握していなければ、投資で勝つことはできない時代となったのです。



著者紹介：二〇〇〇年三井物産フューチャーズ入社。二〇〇四年からの原油価格の高騰、二〇〇五年のドル高など、的確な分析で実績を挙げている。当社ホームページでマーケットコラム「今日のひと言」を展開中。

【お問い合わせ】
三井物産フューチャーズ㈱カスターマーサービス部企画室
電話：〇三 三三六〇 八六五〇

ブルゴーニュの誇り ジョゼフ・ドルアン 名門ワイナリーの白ワイン

三井物産㈱は三井物産「カ・コーポ」ブランドとして二〇〇〇年に分社化し、ワイン専門会社として世界一四カ国より「作り手の顔が見える」ワインを輸入・販売しています。

フランス・ブルゴーニュにあるメゾン・ジョゼフ・ドルアン(以下、ドルアン)は二八八〇年の創立以来、家族経営にこだわり、伝統とテロワールその土地固有の個性への信念を守り続ける名門ワイナリー。今回おすすめする「シャブリ」はドルアンの看板ワインです。淡い黄金色に青りんごやミント、レモングラスを想わせる香り。生き生きと

した酸、心地よいミネラルのフィニッシュ。ドルアンの「シャブリ」はシーフードとよく合い、特に冬の味覚、牡蠣との相性は抜群です。ぜひお試しください。



【お問い合わせ】
三井物産㈱
電話：〇三 五五四 一三九一
http://www.mikunivine.co.jp

楽しく学ぶ英会話 「GEOSケータイ校」 三采会会員企業様向け キャンペーンのご案内

日本ユニシス情報システム㈱では英会話と留学でおなじみの株式会社ジオス様(以下ジオス社)と共同で携帯公式英会話サイト「GEOSケータイ校」を運営しています。

「今すぐ使える英語」「海外旅行で役立つフレーズ」などの楽しい英語コンテンツに加え、「ええーっ」と驚く世界の常識、「海外就職・留学体験談」など、通勤時やちょっとした空き時間に楽しく学べる英会話コンテンツが満載です。料金は初月無料で月々二六〇円(税込)です。詳細については、パソコンから<http://www.geos.co.jp>、携帯電話からは<http://geos.jp>からご覧ください。



またジオス社では、三采会会員企業向けに全国のジオスに通える「通学レッスン」の特別キャンペーン(二月二十八日まで)をご用意しております。通常三、五〇〇円の法人会員料が無料。さらに契約登録料免除、授業料が七、二%割引となります。「講師派遣レッスン」や「翻訳サービス」(初回三〇%割引)も行っていきますので、お気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ】
三井物産ビル支店
電話：〇三 五二二三 八五五

【お問い合わせ】
GEOSケータイについて
日本ユニシス情報システム㈱プロードバンドビジネス部
電話：〇三 五五四六 三三六八
通学レッスン・講師派遣などについて
御メフォス法人営業部
電話：〇三 五五四四 〇三〇〇
担当：原田

【お問い合わせ】
三井物産ヒューマンリソース
九州と三井物産本社内に
新規点を開設

御三井物産ヒューマンリソースは業務拡大とサービス向上のため、昨年一月一日に九州支社、二月九日に三井物産本社ビル内に、各々支店を開設しました。

九州支社においては、同地区の人材派遣市場の伸びが高く、特に博多はアジアへの玄関口として貿易関係の会社が多いこともあり、市場の将来性を考えて開設しました。当面は貿易、営業事務、受付、秘書、経理など当社が強みとしている職種を中心にサービスを行います。九州での派遣ニーズのある企業様や派遣で働きたい方はぜひご連絡ください。

三井物産ビル支店が同ビル内に支店を設置した目的は二つ。一つは人事部をはじめクライアントである各部門の総括・人事担当者の方々とより迅速に対応すること、もう一つは稼働スタッフへの就業中のマネジメントとフォローアップを強化するとともに、安心して働ける環境をつくること。これら二点をクライアントと稼働スタッフ両者へのサービス向上に努め、また三井物産本社向けの良質な人材の募集強化を図ります。

【お問い合わせ】
御三井物産ヒューマンリソース
九州支社
電話：〇九二 二六二 三三三四
フリーダイヤル：〇二二〇 〇三三三四
担当：木下・桑田
三井物産ビル支店
電話：〇三 五二二三 八五五

おかげさまで 35周年

「知融リース」で経営課題を解決します。

三井リース事業

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目ビルディング
Tel.03(3517)7800(大代表) Fax.03(3517)7797
http://www.mitsuilease.co.jp

東京三采会第一九回スポーツ交流ボウリング大会

日本フランスウィック強し！ 団体戦六連覇

昨年九月四日、東京三采会第一九回スポーツ交流ボウリング大会が東京・港区の田町ハイラインで開催されました。今回は七社、二二チーム、総勢九〇名が参加し、二ゲームの個人戦、団体戦が行われました。

熱気溢れる会場では、ストライクやゲッターが出るたびに歓声が上がり、各チームとも大盛り上がり、ゲームを楽しみました。

結果は、二位に五スコア以上の差をつけた日本フランスウィック(御)が圧倒的強さをみせて六年連続優勝を果たしました。準優勝はアラマックユニフォームサービス(御)Aチーム、三位は御一冷となり、個人男子は三井物産フューチャーズ(御)の尾崎正弥さん、個人女子は御一冷の渡辺祐里さんがハイゲーム賞も獲得し、優勝しました。

ゲーム終了後、会場を移し表彰式と懇親会を行いました。藤松スポーツ交流委員長(アラマックユニフォームサービス(御)社長)の挨拶および乾杯に続いて、表彰および賞品が授与されました。

恒例となった各社協賛商品の抽選会では、Tシャツ、スーフ、飼料、ボウリングボールなど、参加各社のお勧め商品が勢ぞろい。抽選商品が読み上げられるたびに、皆で一喜一憂するなか、会場は盛り上がりました。

三采会事務局および会を盛り上げていただいた進行役の中央ビル工業(御)また関係者の皆様、本当にありがとうございました。(T.M.サービス 鴻池)

懇親会で行われた抽選会の様子

大会結果

【団体戦】上位3名ハンディーショナル
優勝 日本フランスウィック(御)
準優勝 アラマックユニフォームサービス(御)Aチーム
3位 御一冷Aチーム

【個人】
(男子)
優勝 尾崎正弥 三井物産フューチャーズ(御)
準優勝 三島哲朗 ユスモテキスタイル(御)
3位 中村社 アラマックユニフォームサービス(御)Aチーム

(女子)
優勝 渡辺祐里 御一冷
準優勝 池畑登紀子 物産サービス(御)
3位 佐々木絹代 中央ビル工業(御)

【ハイゲーム】
男子 尾崎正弥(三井物産フューチャーズ(御)) 247
女子 渡辺祐里(御一冷) 183